

社会的マイノリティに向けられる バッシングを考える



Windows95 が広く市民に普及してから 25 年が経過しました。私たちは急速に変化するインターネットの時代を生きていくなかで、社会的マイノリティに向けられるヘイトスピーチなどのバッシングに直面し、不安とともに暮らしています。憎悪や分断を生むさまざまな問題にどのように向き合っていくのか、人権を尊重する信頼や連帯をどうやって取り戻すのか、私たちは大きな岐路に立っています。そのためにはどのような法整備や支援が必要なのか、今すぐ私たちにできることは何か、希望につながる解決のヒントを考えます。

◆開催期間 2019年9月4日(水)～11月1日(金) 全5回

◆時間 各回19:00～21:00

◆定員 各回50人程度(先着・定員に達するまで受付)

◆会場 【第1回】HRCビル 5階ホール

大阪市港区波除 4-1-37 TEL06-6581-8691

【第2～5回】大阪市立総合生涯学習センター 5階 第1研修室

大阪市北区梅田 1-2-2-500 大阪駅前第2ビル TEL06-6345-5004

◆受講料 全5回一括受講料 4,000円

各回受講料 1,000円

第1回 9/4(水)	沖縄の基地反対運動を取り上げる本土メディア 講師: 齊加 尚代 (MBS 報道局番組ディレクター)
第2回 9/18(水)	インターネットによる社会の分断と連帯 講師: 辻 大介 (大阪大学 准教授)
第3回 10/2(水)	ITの進歩がもたらす政治・経済・人権の危機 ～個人データと情報リテラシーの視点で～ 講師: 北口 末廣 (近畿大学人権問題研究所 主任教授)
第4回 10/17(木)	在日コリアン女性の生きにくさとマイクロアグレッション (※マイクロアグレッションとは、特定の個人に対してその人が属する集団を理由に貶めるメッセージを発するような、日々のちょっとしたやり取り) 講師: 金 友子 (立命館大学国際関係学部 准教授)
第5回 11/1(金)	性的マイノリティに対する差別的言説を考える 講師: 岡野 八代 (同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 教授)